

節電を含めた省エネは、安定したエネルギー供給を支える行動として、その重要性がますます高まっています。組合事務所や職場のみんなで、連合が提案する「オフィス・ピークカットアクション」に取り組み、職場環境を見直しながら、電力不足を乗り切りましょう!

空調

- 1 「エコスタイル」(クール・ビズ、ウォーム・ビズ※)を実践し、温度設定を控えめにする(夏期:28℃、冬期:20℃が目安)。
※クール・ビズ: 5～10月、ウォーム・ビズ:11～3月

- 2 扉やカーテン・ブラインドの使用、扇風機の活用などによる空調の効率化をはかる。

照明

- 3 昼休みや未使用時の事務所・会議室・トイレなどのこまめな消灯を心がける。
- 4 LED電球への買い換えや、可能な範囲で電球の数の間引きを行う。

冷蔵庫・自動販売機

- 5 温度設定を控えめにする(強にしない)。
- 6 扉の余分な開閉をせず、開閉時間も短くする。

トイレ

- 7 温水洗浄便座の使用や、温度設定を控えめにする。
- 8 使用後は必ず保温便座のふたを閉める。

オフィスのピークカットで
電力不足を乗り切ろう!!

OA機器

- 9 省エネモードを設定し、未使用時には電源をこまめに切る。
- 10 プリンター等の共有機器の使用台数を、必要最低限にする。
- 11 最終退室者は共有機器の主電源を切って退社する。

エレベーター

- 12 階段の利用を推奨し、エレベーターやエスカレーターの使用を最低限に制限する。

